

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス静岡駅南教室			
○保護者評価実施期間	2026年1月6日		～	2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数)	32名
○従業者評価実施期間	2025年12月17日		～	2025年12月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通年にわたる計画的なカリキュラムと、発達段階に応じた実践的な支援プログラムの提供。	・通年カリキュラムのもと、毎週考案ミーティングを実施し、その日の利用者の特性や状況に合わせた課題を担当職員が都度考案しています。 ・ICT（タブレット）の活用や中高生講座など、年代に即した学びの機会を作り、個々の興味・関心を引き出す支援をしています。	・プログラムの内容を継続的にブラッシュアップし、より社会生活に結びつく実践的な活動のバリエーションを増やしていきます。 ・お子様の細かなニーズを的確に把握し、活動後の達成感や満足感をより深められる支援を追及していきます。
2	利用の都度おこなう、個別支援目標に対する評価と振り返り体制の徹底。	・一人ひとりの個別支援計画に基づいたその日の目標に対し、利用のたびに必ず指導員が評価・振り返りを実施しています。その日の様子や課題の達成度を記録・分析することで、次の支援に反映させています。	・日々の記録を蓄積し、定例のモニタリングやアセスメントの精度をさらに高めていきます。 ・評価の内容を保護者様とよりわかりやすく共有できるように、伝え方の工夫や書面でのフィードバックの充実を図っていきます。
3	保護者との信頼関係に基づいた、対面重視の共感的支援体制。	・お迎え時の対面報告や定期的な面談を最重視し、直接顔を合わせることで、お子様の成長の喜びや保護者様の不安に寄り添う姿勢を大切にしています。 ・ご相談をいただいた際には、これまでの支援経験を活かし、できる限りその場で迅速な回答や具体的な助言がおこなえるよう努めています。	・お迎え時の報告が込み合う際の個別対応（別室へのご案内等）をよりスムーズに仕組化し、すべての保護者様が周囲を気にせず、より気兼ねなく相談できる環境作りをしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室スペースの物理的制約による活動制限への対応。	・駅から徒歩で来所できる便利な立地にある反面、教室面積には限りがあります。そのため多人数での一斉活動や、ダイナミックに体を動かす活動には制限が生じています。 ・完全に独立したクールダウン用の個室を常設することが難しい状況です。	・限られたスペースを最大限に活かすため、カーテンやパーテーションを柔軟に活用し、個々の視点を遮る「空間の構造化」をしています。 ・活動内容を場所の特性に合わせたものに工夫する、必要に応じて近隣の外部資源を活用するなど、ストレスなく過ごせる環境作りをしていきます。
2	保護者への情報周知の実効性と可視化。	・全体への周知として、書面や教室内の掲示、LINEでのメッセージ配信など多角的な案内をしているが、重要事項が十分に伝わりきっていない実情があります。	・全体案内だけでなく、LINEでの個別案内を強化し、より確実な周知に努めることや、ホームページの閲覧案内にとどまらず、文書の画像での共有や訓練等の実施後報告を配信したりすることで、事業所の取り組みを可視化していきます。
3	物理的制約やニーズに伴う地域交流・外部連携の不足。	・送迎車両を保有していないため、移動範囲が徒歩圏内に限られ、学校への訪問機会や遠方の施設や地域資源を活用した交流機会が不足しています。 ・通常級に在籍するお子様も多く、プライバシー保護の観点から、地域交流や他施設（児童館や放課後児童クラブ等）との積極的な交流は行っておりません。	・プライバシーへの配慮を最優先としつつ、ご要望がある場合には地域イベントへの参加や外部施設との連携を柔軟に検討していきます。 ・学校との連携の機会は少ないですが、保護者様からの個別の要望の際には学校訪問をして、支援の共有・連携を図っております。